

福岡市立病院機構の経営状況について

1 平成 29 年度の経営状況

- ① こども病院は、HCUやNICUを中心とした効率的な病床管理による病床利用率の向上を図るとともに、リハビリテーション科の新設や医師事務作業補助者増員による新たな施設基準の取得など様々な対策に取り組んだ結果、入院収益が前年度比 2 億 500 万円余の増となった。
- ② 市民病院は、救急専門医の増員など救急医療体制の更なる充実を図るとともに、全入院手術について収益の確保が図られた結果、入院収益が前年度比 3 億 900 万円余の増となった。
- ③ 両病院とも、診療材料の同種同効品への切り替えや、ジェネリック医薬品の使用拡大により価格低減を図るとともに、経費全般においても価格交渉の徹底、契約手法の見直しに努め、費用削減を図った。
- ④ ①～③の結果、機構全体での当期純利益は 10 億 7,300 万円余となった。

(1) 医業収益 (実績値)

(単位：千円)

区 分	21 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
福岡市立こども病院	5,332,192	5,597,058	7,502,357	8,737,523	9,084,896
福岡市民病院	3,997,962	5,310,619	5,738,642	5,496,483	5,686,233
法人全体	9,330,154	10,907,677	13,240,999	14,234,006	14,771,129

※医業収益・・・入院収益，外来収益，その他の医業収益(差額ベッド代，文書料等)の合計。

(2) 営業費用 (実績値)

(単位：千円)

区 分	21 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
福岡市立こども病院	5,536,719	7,168,794	8,929,610	9,551,715	9,646,944
福岡市民病院	4,438,905	5,486,237	6,228,022	6,226,606	6,090,349
法人全体	9,975,624	12,655,031	15,157,632	15,778,321	15,737,294

※営業費用・・・医業費用(給与費，材料費，経費，減価償却費，資産減耗費，研究研修費)と一般管理費等の合計。

※平成 27 年度決算より控除対象外消費税等及び資産に係る控除対象外消費税等償却の表示区分を営業外費用から営業費用に変更しているため，平成 27 年度以降はこれらの金額を含んでいる。

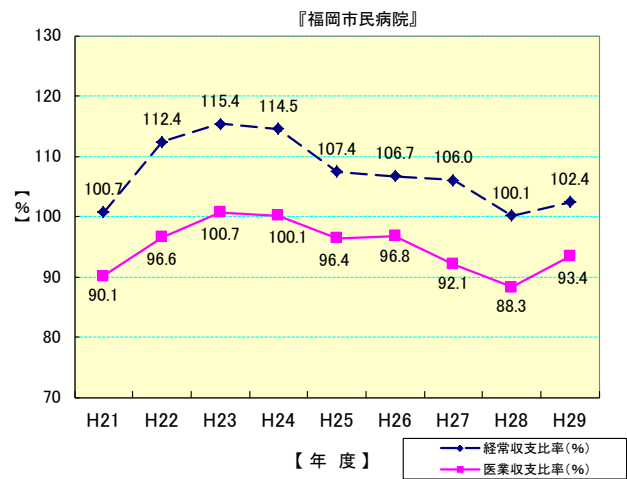
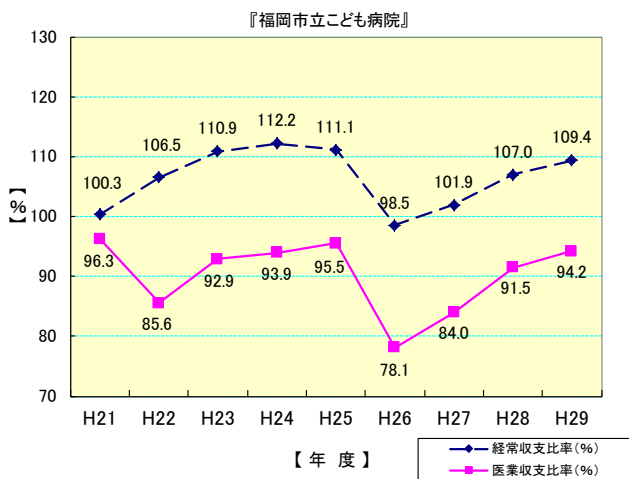
(3) 当期純利益 (実績値)

(単位：千円)

区 分	21 年度	26 年度	27 年度	28 年度	29 年度
福岡市立こども病院	1,561	▲348,813	▲22,686	263,908	925,378
福岡市民病院	18,399	358,684	84,873	856	147,782
法人全体	19,960	9,871	62,187	264,764	1,073,161

※当期純収益・・・総収益(経常収益，臨時収益)から総費用(経常費用，臨時損失)を差し引いたもの。

(4) 経常収支比率・医業収支比率



※経常収支比率・・・経常費用（営業費用，営業外費用）に対する経常収益（営業収益，営業外収益）の割合。

※医業収支比率・・・営業費用（医業費用（給与費，材料費，経費，減価償却費，資産減耗費，研究研修費）と一般管理費等の合計）に対する医業収益（入院収益，外来収益，その他医業収益）の割合。

平成 29 年度の経常収支比率は，こども病院は 109.4%となっており，前年度に比べて 2.4 ポイント増，福岡市民病院は 102.4%となっており，前年度に比べて 2.3 ポイント増となっている。また，平成 29 年度の医業収支比率は，こども病院は 94.2%となっており，前年度に比べて 2.7 ポイント増，福岡市民病院は 93.4%となっており，前年度に比べて 5.1 ポイント増となっている。

経常収支比率，医業収支比率ともに主な上昇の要因は，こども病院では医業収益の増，また市民病院では医業費用の減によるものである。

2 運営費負担金

第 3 期中期目標期間（平成 29 年度～平成 32 年度）の初年度である平成 29 年度の運営費負担金については，法人全体の決算額が 20 億円（こども病院：14 億 5 千万円，市民病院：5 億 5 千万円）となっている。

(単位：千円)

区分	H26	H27	H28	H29
福岡市立こども病院	1,678,610	1,590,887	1,476,688	1,450,000
福岡市民病院	797,246	894,125	746,601	550,000
法人全体	2,475,856	2,485,012	2,223,289	2,000,000

3 業務の実績等に関する評価結果

平成 29 年 6 月に地方独立行政法人法が改正（平成 30 年 4 月施行）され、評価にあたっては、評価を実施する際の評価主体が評価委員会から設立団体の長へ変更された。法改正に伴い、市長が評価する際、評価委員会が市長に意見を述べることを条例で定め、平成 30 年度に実施する平成 29 年度業務実績評価から適用とした。

(1) 平成 29 年度の評価結果

「中期計画の実現に向けて計画どおり進んでいる」と評価する。

[判断理由]

福岡市立こども病院においては、小児医療及び周産期医療の更なる充実を図るとともに、患者ニーズや医療環境の変化に即した新しい診療科の設置や診療体制の見直しを行っている。

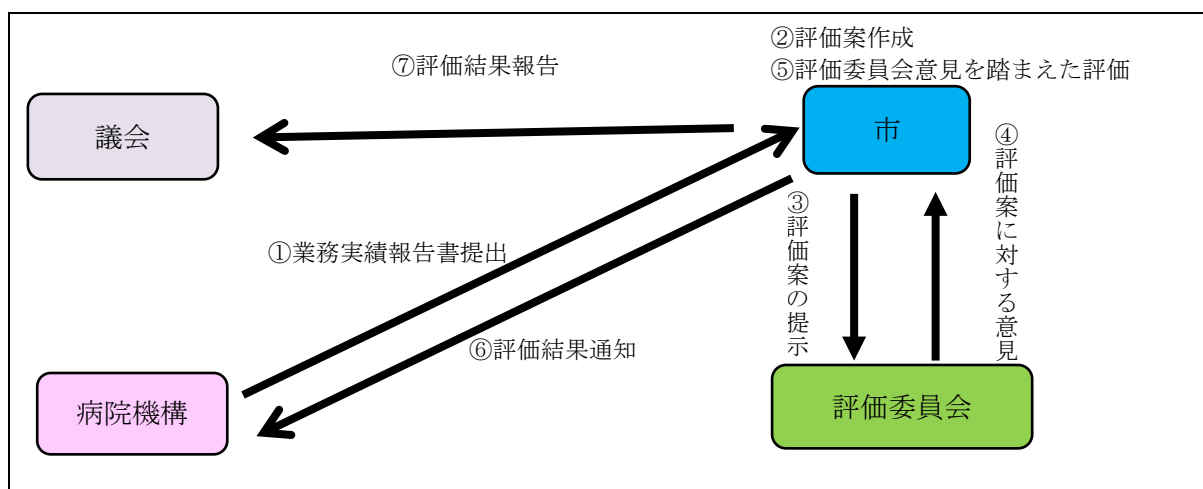
福岡市民病院においては、高度専門医療の更なる充実を図るとともに、高度救急医療の対応強化及び感染症医療の機能の充実にも取り組んでいる。

経営面では、人員の適正配置や救急医療の体制充実により、病床利用率や手術件数が増加、また費用削減にも取り組んだ結果、当期純利益が、福岡市立こども病院において、9億2,500万円余、福岡市民病院において1億4,700万円余となっており、経営基盤の強化・収支改善が順調に図られている。

項 目	大項目評価
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A 計画以上に進んでいる
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	B おおむね計画どおり進んでいる
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	B おおむね計画どおり進んでいる
第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	A 計画以上に進んでいる

(2) 参考

① 評価委員会の業務の流れについて



② 関係法令 <抜粋>

○地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会条例
(所掌事務)

第2条 委員会は、法の規定によりその権限に属させられた事項を処理するほか、市長が次に掲げる事項を行うに当たり、市長の諮問に応じて審議し、意見を述べるものとする。

(1) 法第26条第1項の規定に基づく中期計画の認可

(2) 法第28条第1項各号に規定する当該事業年度における業務の実績及び同項第3号に規定する中期目標の期間における業務の実績に係る評価

2 委員会は、前項に定めるもののほか、市長の諮問に応じて審議し、意見を述べるものとする。

○地方独立行政法人法

(各事業年度に係る業務の実績等に関する評価等)

第二十八条 地方独立行政法人は、毎事業年度の終了後、当該事業年度が次の各号に掲げる事業年度のいずれに該当するかに応じ当該各号に定める事項について、設立団体の長の評価を受けなければならない。

一 次号及び第三号に掲げる事業年度以外の事業年度 当該事業年度における業務の実績

二 中期目標の期間の最後の事業年度の直前の事業年度 当該事業年度における業務の実績及び中期目標の期間の終了時に見込まれる中期目標の期間における業務の実績

三 中期目標の期間の最後の事業年度 当該事業年度における業務の実績及び中期目標の期間における業務の実績

2～6 略

4 今年度の主な取組み

分類	こども病院	福岡市民病院
平成30年度 年度計画に記載のあるもの	<ul style="list-style-type: none"> 重症患者の受入体制強化のための周産期病床の再編（NICU：18床⇒21床，GCU：21床⇒18床） TeamSTEPPSの導入（※） ふくおかハウス増室プロジェクトの取組開始 資格取得支援による手術認定看護師1名の配置 	<ul style="list-style-type: none"> 救急部門に救急専門医を1名増員し，3名体制へ 「入退院支援室」を設置（4月）
上記以外	<ul style="list-style-type: none"> 7月の西日本豪雨における，災害支援ナース派遣（1名） 	<ul style="list-style-type: none"> 7月の西日本豪雨における，JMATとしての職員派遣（医師2名，看護師1名，薬剤師1名，事務1名） NPO法人福岡地域救急医療連携推進協会の事務局業務を受託

※TeamSTEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety)

医療のパフォーマンスと患者安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法。良好なチームワークを確立し，医療行為全般のパフォーマンス（医療行為の経過から結果までの全過程の行い方）と患者の安全性を高めるために，米国において国防総省や航空業界などの事故対策実績をもとに作成されたチーム戦略。